

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市愛子児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 26,470人 (前年度比 98.3%) 平成28年度 26,915人 平成27年度 23,651人 平成26年度 27,912人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 46,344千円 (31,088千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、管理運営団体が作成した「オリエンテーションブック」を用いて職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブでは、子どもが企画運営に関わりながら、1年の最後にお世話になった地域の方に感謝の会を実施するなど、主体性を育みながら地域の方と交流する機会を設けている。年2、3回発行の児童クラブ通信では、子どもの遊びや生活の様子を伝え情報共有を図り、保護者と連携した育成支援に取り組んでいる。 子育て支援クラブの活動を支援するほか、地域団体、町内会、近隣保育所、市民センター、ボランティア等とネットワークを築き地域と連携した運営に取り組んでいる。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「安全・安心な地域の集いの場」づくりを重点目標として事業展開を行いました。まず乳幼児対象事業については、自由に参加できる活動と年齢に応じた企画を行いました。栄養士や歯科衛生士など専門家による子育て相談、ベビーマッサージやミニコンサート、わらべうたや人形劇など親子ともゆったりと過ごしながら交流の場が広がるように企画内容を工夫しました。また、幼児クラブは25組の登録があり、運動会や芋煮会、七夕づくりや節分など幼児クラブでしか味わえない季節の伝統行事などを発達段階に応じて行い、乳幼児親子同士の親睦や交流を図りました。小学生対象の事業としては、夏と冬に「マンカラ大会」を実施しました。いろいろな友達と練習したり、当日は上愛子サテライトの児童も参加したりするなど仲間の輪が広がりました。中・高生向け事業としては、「中学校版児童館だより」を発行して利用を呼びかけたり、ボランティアを募ったりしました。その結果、中学生が遊びに来て小学生と触れ合ったりする場面も見られるなど利用者も増加しました。小学生対象の事業としては地域の自然環境や人材を活用した豊かな体験活動を提供したいと考え「愛子の森の四季を味わう体験」「高齢者の方との昔遊び体験」「科学遊び体験」などの活動を行いました。この活動では世代間交流も図られ、子どもだけでなく保護者の方からも好評を得ました。児童クラブでは、上学年が遊びのリーダーとして活躍できる場面を設定しました。活動を通して自立的な資質が醸成されてきたのではないかと思います。年2回実施した児童館運営懇談会では「児童館との連携」をテーマに学校や地域の諸団体の方から効果的な連携のあり方について具体的ご意見をいただき活動の充実を図ってきました。これらの活動や利用者アンケートを総括した結果、重点目標は達成できたのではないかと思います。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>乳幼児親子を対象に、幼児クラブに加えて、年齢別自由参加の行事や保護者を対象にした行事を行うほか、栄養士・歯科衛生士等と連携した育児相談・育児情報等の場を提供している。各行事の内容の充実を図り、選択・利用しやすい環境作りに取り組むなど、子育て家庭支援に努めており評価できる。</p> <p>地域特性を生かした森探検、ざりがに釣り、天文台との星の観察など地域と連携して自然体験に取り組んでいるほか、小学生を対象にゲーム大会・老人クラブと連携した昔遊びなどの場を用意し、遊び・体験の充実を図り心身の育成支援に取り組んでいる。</p> <p>愛子小学校区内のほか、上愛子小学校でも児童クラブを運営しており、職員配置や情報共有に配慮した取組みが行われている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室